

ITS世界会議の模様について

平成21年10月7日
ITS無線システム委員会事務局

ITS世界会議(第16回)の模様

- ◆ ITS(高度道路交通システム)に関する各種の研究成果について、世界的な規模での情報交換及び実用化に向けた国際的な協力の推進を目的として開催される国際会議。
- ◆ 第1回のパリ会合('94)以来、欧州、米国、アジア太平洋の3地域が毎年持回りで開催し、今回は第16回目。
- ◆ 本年は、「日常におけるITS」をテーマに、安全や環境などへのITSの活用について約240のセッションで討論。

1. 概要

- ・日 時: 平成21年9月21日(月)～25日(金)【5日間】
- ・場 所: Stockholm International Fairs(スウェーデン・ストックホルム)
- ・参加者: 約8,000人

海外関係者: 政府関係者(スウェーデン情報通信大臣、EC、米国運輸省等)、自動車メーカー(ボルボ等)、機器メーカー(エリクソン、カプシュ等)、関係団体(ETSI、ERTICO、ITS America等)

日本関係者: 政府関係者(内閣官房、警察庁、総務省、経産省、国交省(道路局、自交局))、自動車メーカー、機器メーカー、関係団体(ITS-Japan、ARIB等)

2. 会議の模様

【9月21日(月)】開会式

欧州、米国、アジア太平洋の各代表者のスピーチ。日本からは渡邊浩之ITS Japan会長が挨拶。

【9月22日(火)～9月25日(金)】セッション、展示、デモンストレーション

現在、開発が進められているITSの各国における開発動向や、それを活用したサービス等の個別のテーマについて深く掘り下げ、世界各地域の専門家が活発に議論。総務省主催のセッション等において、我が国の700MHz帯を用いたITS無線システムについて、昨年度に実施した大規模実証実験の結果、実用化に向けた検討状況、スケジュール等を紹介。多数の質問が出され関係者の関心を得た。

安全運転支援の他、交通管理、環境対策等について展示があった。車車間・路車間通信を活用した安全運転支援システムについては、欧州、韓国等からの展示の他、特に日本メーカーからの展示が目立った。また、欧州研究開発プロジェクトのCVISやSAFESPOT等によるデモが行われた。

3. 今後の予定

- ・第17回('10 韓国釜山)、第18回('11 米国オーランド)、第19回('12 オーストリア・ウィーン)、第20回('13 東京)

(参考) ITS世界会議のデモ・展示の模様

一般道における路車・車車協調システム(CVISプロジェクト)のデモ



●車載システム

会場駐車場におけるストックホルムで実用化されているITSのデモ



●電子タグを使った横断支援システム

展示会場における700MHz帯ITS無線システムの展示模様



●700MHz帯車載器



●アプリケーション

- ・道路課金
- ・規制情報提供(前方横断歩道有)
- ・交通情報提供(電車出発時刻)
- ・駐車場入退管理
- ・一方通行逆走車通知 など



●カメラとレーダの協調による道路課金システム



●700MHz帯アンテナ